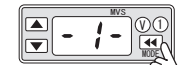


### 1. 吸着モードとタイマの設定方法



キーを1回押しして離し、3秒待ちます。

「吸着モード」

- P1: 吸着モード1 (ONタイマ動作、タイマ動作で吸着保持)
- P2: 吸着モード2 (OFFタイマ動作、タイマ終了後真空電磁弁OFF)
- P3: 吸着モード3 (ON動作、真空電磁弁ON継続)

キーで吸着モードを選択し、キーで設定します

キーでb tの値を変更し、キーで設定します

キーでt 1の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

キーでt 2の値を変更し、キーで設定します

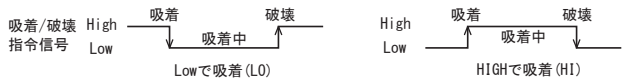
1. 「破壊時間」b t  
破壊指令信号によって破壊電磁弁をONする時間を設定します。0.00~9.99秒が設定可能です。9.99秒の次にはA t (自動)が表示されます。A tを設定した場合、破壊時のOUT 1のONと同期して破壊電磁弁をOFFします。(b tは各吸着モード共通です。)

2. 「遅延時間1」t 1  
吸着時の真空度が設定値に達し、OUT 1がONしてから真空電磁弁をOFFするまでの遅延時間を設定します。0.00~9.99秒が設定可能です。(t 1は吸着モードが1と2の場合に設定できます。)

3. 「遅延時間2」t 2  
破壊指令信号の検出から破壊電磁弁をONするまでの遅延時間を設定します。0.00~9.99秒が設定可能です。(t 2は各吸着モード共通です。)

### 吸着/破壊指令信号のタイミングチャート

吸着/破壊指令信号のHigh (電源電圧または開放) から、Low (0V) への立ち下がりがエッジで吸着動作を開始します。吸着動作中はLowを保持して下さい。LowからHighへの立ち上がりエッジで破壊動作を行います。また吸着/破壊指令信号の論理を逆転させることもできます。この場合LowからHighへの立ち上がりエッジで吸着動作を開始し、HighからLowへの立ち下がりがエッジで破壊動作を行います。

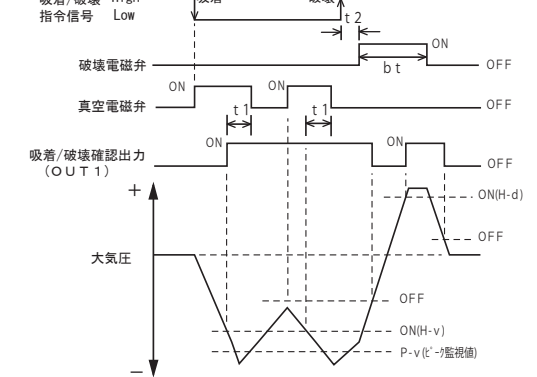


吸着/破壊指令信号の吸着中はLED表示最終桁の小数点が点灯します。真空電磁弁がONしている場合は緑のLEDが点灯します。

### 吸着モード1の動作例(タイマ動作で吸着保持)

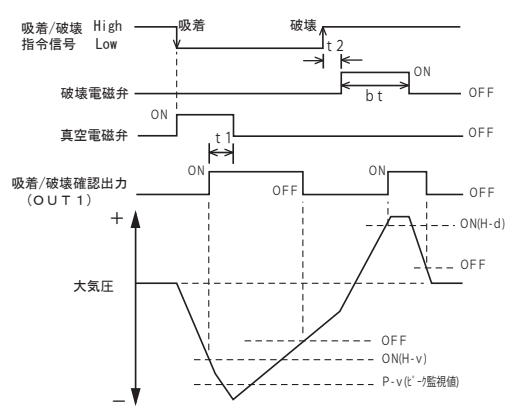
吸着指令信号により真空電磁弁をONし、真空を発生させ吸着を開始します。真空度が設定値に達しOUT 1がONするとt 1後に真空電磁弁がOFFします。その後真空度が低下し、OUT 1のOFFポイントの手前で再度真空電磁弁がONし、真空度を保持します。(以降、真空電磁弁はON、OFFの繰り返しを行います。)

破壊指令信号により真空電磁弁をOFFしt 2後に破壊電磁弁をONします。破壊電磁弁はb t間ONします。



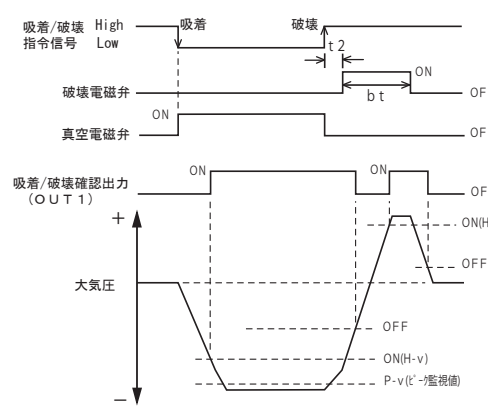
### 吸着モード2の動作例(タイマ終了後真空電磁弁OFF)

吸着指令信号により真空電磁弁をONし、真空を発生させ吸着を開始します。真空度が設定値に達しOUT 1がONするとt 1後に真空電磁弁がOFFします。その後真空度が低下し、OUT 1がOFFしても真空電磁弁は再度ONしません。破壊指令信号により真空電磁弁をOFFしt 2後に破壊電磁弁をONします。破壊電磁弁はb t間ONします。

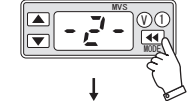


### 吸着モード3の動作例(真空電磁弁ON継続)

吸着指令信号により真空電磁弁をONし、真空を発生させ吸着を開始します。真空度が設定値に達するとOUT 1がONします。OUT 1の状態にかかわらず真空電磁弁は常にONです。破壊指令信号により真空電磁弁をOFFしt 2後に破壊電磁弁をONします。破壊電磁弁はb t間ONします。



### 2. 吸着/破壊確認出力(OUT 1)の設定方法



キーを2回押しして離し、3秒待ちます。

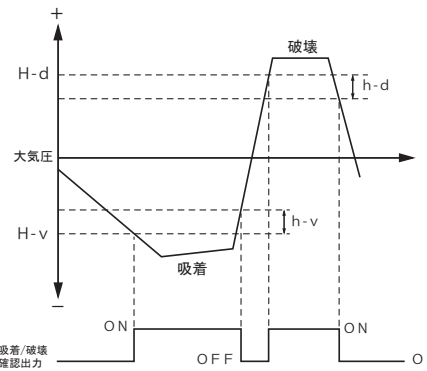
H-v ← -46 吸着時のONする値H-vをキーで変更し、キーで設定します。

h-v ← -7 吸着時のヒステリシス幅(応差)h-vをキーで変更し、キーで設定します。

H-d ← 200 破壊時のONする値H-dをキーで変更し、キーで設定します。注1)

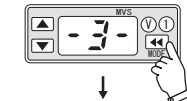
h-d ← 50 破壊時のヒステリシス幅(応差)h-dをキーで変更し、キーで設定します。注2)

End



注1) H-dでOFF(上限値の次)を設定した場合、破壊時のOUT 1の出力は行われません。破壊時間(bt)で自動(At)を設定している場合、H-dにOFFの設定はできません。  
注2) H-dでOFFを設定した場合、h-dの設定はできません。

### 3. 省エネモード、ピーク監視、吸着/破壊到達時間の設定方法



キーを3回押しして離し、3秒待ちます。

Sr ← OFF 省エネモードのON/OFFをキーで変更し、キーで設定します

P-v ← OFF ピーク監視値P-vをキーで変更し、キーで設定します

v ← OFF 吸着到達時間v tをキーで変更し、キーで設定します

d ← OFF 破壊到達時間d tをキーで変更し、キーで設定します

End

1. 「省エネモード」  
ONを設定すると10秒間キー操作を行わなかった場合、LED表示を消して消費電流を削減します。何かキーを押すと再度表示されます。

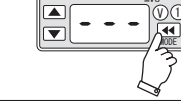
2. 「ピーク監視」P-v  
吸着時の真空度がP-vの圧力値を越えなかった場合ALPの点滅表示でバッド等の劣化による真空度の低下を警告します。警告表示は何かキーを押すとクリアされます。P-vの設定値はH-vとT限レンジの範囲内で設定できます。OFFを設定した場合はピーク監視を行いません。

3. 「吸着到達時間」v t  
真空電磁弁のONからv tで設定された時間内にOUT 1がONしなかった場合AL vの点滅表示で真空度の低下を警告します。

4. 「破壊到達時間」d t  
破壊電磁弁のONからd tで設定された時間内にOUT 1がONしなかった場合AL dの点滅表示で破壊圧力の低下を警告します。

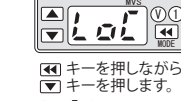
v t、d tの設定可能な時間は0.00秒(OFF)~9.99秒です。OFFを設定した場合は時間監視を行いません。AL v、AL dの表示は次の吸着/破壊指令で自動的にクリアされます。また何かキーを押すとクリアされます。

### 4. ゼロリセット方法



モードキーを3秒以上押し続けず、ゼロリセットされます。大気圧状態±3%F.S.以内で行って下さい。

### 5. セキュリティロックの設定と解除方法



解除する場合は、もう一度キーを押します。Loが表示され、これ以降のキー操作はききません。Loが表示され、ロックが解除されます。

### 6. OUT1と電磁弁の出力形態の設定方法

キーを押しながらキーを押します。OUT1の出力形態をキーで変更し、キーで設定します。

真空電磁弁の出力形態をキーで変更し、キーで設定します。

破壊電磁弁の出力形態をキーで変更し、キーで設定します。

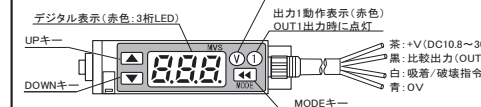
吸着/破壊指令信号の論理をキーで変更し、キーで設定します。

真空/破壊電磁弁の出力形態の設定  
常時間の電磁弁の場合は、(通常非通電)に設定します。  
常時間の電磁弁の場合は、(通常通電)に設定します。

### 7. アラーム一覧

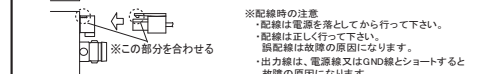
Err	OUT1過電流	出力電流が125mA以上流れています	負荷を行って下さい
Err	ゼロリセットエラー	ゼロリセットが3%F.S.以上	大気圧戻放電で行って下さい
Err	エラー	内部故障です	弊社へご連絡ください
FFF	定格レンジフル	圧力レンジが超過しました	
-FF	逆圧レンジフル	圧力値が逆圧レンジを超過しました	

### 8. 各部の名称と機能



※コネクタの接続時の注意  
くぼみとツメを合わせて「カチ」と音がするまで押し込んで下さい。

※配線時の注意  
配線は電源を落としてから行って下さい。配線は正しく行って下さい。誤配線は故障の原因になります。出力線は、電源線又はGND線とショートすると故障の原因になります。



### 9. 仕様と型式

型式	MVS-201-XC	N:P/NP
出力仕様	MVS-201-XC	P:P/NP
対応流体	非腐食性ガス	
圧力レンジ	-101~500kPa (kPa固定)	
表示分解能	1kPa	
繰り返し精度	±0.3% of F.S.以下 ±1 digit以下	
応答時間	2.5msec	
比較出力	NPN or PNP オープン出力1点(max 125mA)	
電磁弁出力	NPN/プッシュ出力2点, 真空V用, 破壊D用(max 250mA)	
電源電圧	DC10.8~30V, 負荷レギュレーション10%以下注1)	

注1) 電磁弁駆動電圧に合わせて下さい。  
注2) 電源の立ち上がり時間が29ms以上の場合電圧が入らない等誤動作する場合があります。